

令和6年7月12日
 隠岐支庁農林水産局農業振興部

標 題	令和6年度隠岐産素牛東京枝肉研究会が開催されました
-----	---------------------------

(ダイジェスト)

6月17日、東京都中央卸売市場食肉市場で、隠岐で生産された子牛を県内外の農場が導入・肥育した牛を集めた枝肉研究会が開催されました。隠岐産牛の生産環境と品質をPRできたこと、子牛生産者にとっても肥育農場や食肉市場からの評価やブランド化に向けた助言を直接聞ける機会となるなど、隠岐産牛の産地拡大に向けて意義深い研究会となりました。

6月17日に、東京都中央卸売市場食肉市場において、隠岐で生産された子牛を県内外の農場が導入・肥育した牛を集めた枝肉研究会が開催されました（主催：隠岐農業振興協議会、隠岐牛生産拡大協議会）。この研究会は、首都圏の食肉関係者に隠岐産牛の品質をPRし、隠岐産牛の認知度向上や新たな子牛購買者の誘致につなげることを目的とし、令和4年度から開催しており、今回は3回目の開催となります。

研究会には、県内はもとより、滋賀県や三重県など県内外の9農場から去勢牛10頭、雌牛19頭の計29頭が出品されました。その中から、去勢牛は(農)中国牧場が、雌牛は(有)島根農場が肥育された枝肉がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。出品牛全体の平均枝肉重量は去勢牛が543kg、雌牛が497kg、平均脂肪交雑はBMSNo8.9といずれも全国平均（令和5年）を上回る素晴らしい成績で、肥育農場の技術により隠岐産素牛の能力が発揮されました。また、食肉市場内に隠岐地域ならびに隠岐産子牛の紹介ポスターを掲示し、隠岐産牛の魅力を東京でPRすることができました。

当日は、枝肉出品者（肥育農場）のほか、隠岐の子牛生産者、関係者など約50名が参加しました。子牛生産者は、生産した子牛の枝肉を実際に確認するとともに、肥育農場からの隠岐産牛に対する意見を直接聞くことができ、子牛生産に対する意識・意欲の向上につながる貴重な機会となりました。

さらに、7月2～4日に開設された隠岐家畜市場において、優秀な素牛を生産された子牛生産者の表彰を行うとともに、市場へ入賞した枝肉のポスター掲示を行い、東京に参加できなかった子牛生産者への結果報告を行いました。

この研究会は、肥育農場と子牛生産者が一緒に隠岐産子牛の品質向上と隠岐家畜市場の活性化を進める取組みとして、今後も関係者が一体となって継続していきます。



最優秀賞(去勢)表彰

意見交換会

最優秀素牛生産者表彰